

2023年7月期 第2四半期 決算説明会

2023.3.24



2929



【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。

これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

中期経営計画2026

「新価値創造 **1K**」

プロジェクト

1,000億円を目指し、やり方・仕組みを変える

「新価値創造 1K」

1 新製品

BtoBから“**BtoC**”へ



自社ブランド商品発売開始

2 新市場


国内から“**海外**”市場へ



ベトナム大手薬局との合併会社設立へ

3 新組織

マーケティング、食品・化粧品開発、アグリ、AIなど
各分野の**プロフェッショナル**採用強化。新部門設立へ



2023年7月期 第2四半期 業績ハイライト

セグメント別ハイライト

ポイント

連結業績

BtoC事業のニューモ育毛剤、タマゴサミン等の既存商品、まつ毛美容液等の新製品育成で前年同期比21.9%と安定して増収を達成。
 明治薬品のBtoC事業が増収。新製品への研究開発投資及び広告投資に注力。

BtoB事業

初の自社ブランド商品始動、GABA最高量配合の「明晰ラボ」を全国のセブンイレブンで販売開始。
 明治薬品の医薬品製造受託は堅調に増収に寄与し、前年同期比29.5%の増益を達成。

BtoC事業

1Qの広告宣伝投資の効果により、新規獲得及び定期顧客件数は安定的に推移し、グループ全体の定期顧客件数は105万件。
 ニューモ育毛剤が堅調かつ、新製品の「DRcula（キュラ）」シリーズ、まつ毛美容液が成長中。
 下期の利益予算に向けて順調に推移、2Qの連結会計期間より既に12億円の黒字化。

バイオメディカル事業

①抗体創薬分野で自己免疫疾患プロジェクトが順調 ②AMED次世代抗体プロジェクトのリード抗体作製 ③線維症等の新分野でのプラットフォーム作り
 ④スウェーデンOLINK社共同のプロテオーム解析等を受託が増収に寄与

連結売上高

(百万円)

	2022年7月期 第2四半期	2023年7月期 第2四半期	増減
BtoB事業	3,647	4,071	11.6%増
BtoC事業	25,159	30,923	22.9%増
バイオメディカル事業	14	138	+124
その他	—	10	—
合計	28,821	35,143	21.9%増

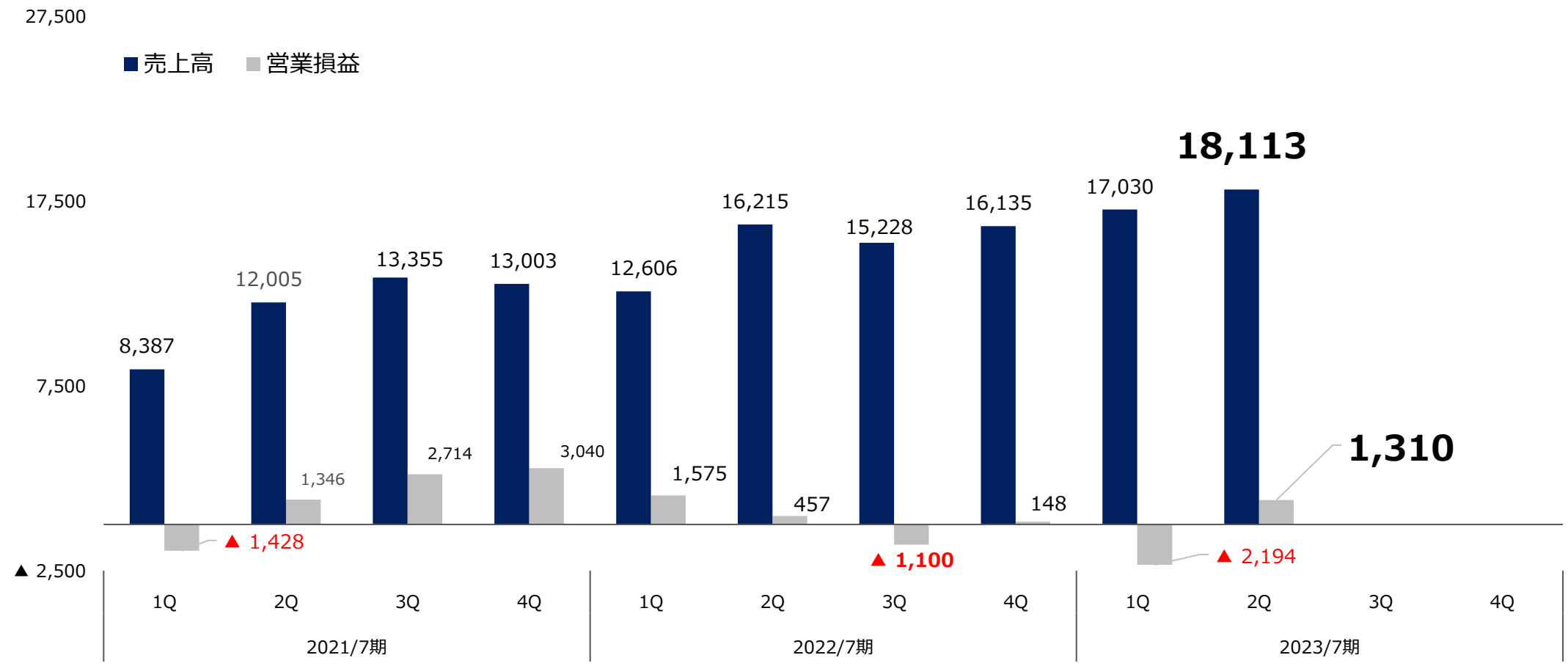
セグメント利益

(百万円)

	2022年7月期 第2四半期	2023年7月期 第2四半期	増減
BtoB事業	541	700	29.5%増
BtoC事業	2,070	▲857	▲2,927
バイオメディカル事業	▲138	▲145	▲6
その他	—	▲1	—
調整額（全社費用等）	▲440	▲580	▲140
合計	2,032	▲883	▲2,916

連結四半期業績推移

(百万円)



「中期経営計画2026、1Kプロジェクト」の実現に向け、新規素材探索、研究員の採用強化等の研究開発投資、新商品及び主力商品への広告投資の適正化を敢行し、利益改善を図る。



B to B 事業

メイセキ

【新製品】 自社ブランド商品 第1弾 「明晰ラボ」 セブンイレブンにて販売開始

GABA最高量**200mg**配合

中高年の方の加齢に伴い低下する認知機能の一部である
論理的思考力を維持

New
メイセキ
明晰ラボ

※構造式はイメージです

ラボシリーズ 第2弾 「筋肉ラボ」 発売予定



【新市場】北米初のファーマギャバ配合の**認知機能**訴求飲料



カリフォルニア、テキサス及び
オンラインで販売開始。
CENTR社のマーケティング支援も行う。

<https://drinkcentr.com/>

【新市場】韓国アモーレパシフィック 美容ドリンクが好調

アモーレ社の「**Vitalbeautie**」ブランドでファーマギャバ採用

5年の時間を掛けた結果、KFDAがファーマギャバを承認



アイテム別売上

(百万円)

	2021/7期					2022/7期					2023/7期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
機能性素材	334	518	501	754	2,109	252	431	391	633	1,708	375	440			816
OEM・NB等 ※	126	179	267	169	743	252	169	242	261	925	289	484			773
CMO ※	0	0	0	0	0	0	1,672	948	1,021	3,642	892	1,104			1,996
CHC ※	0	0	0	0	0	0	869	466	465	1,801	312	172			484
合計	460	698	769	924	2,852	504	3,143	2,048	2,382	8,079	1,869	2,201			4,071

NB (National Brand) : 自社ブランド商品
 CMO (Contract Manufacturing Organization) : 医薬品製造受託機関
 CHC (Consumer Health Care) : ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売

競合への配慮及び事業説明をわかりやすくする観点から、ファーマギヤバ等の製品を機能性素材に集約いたしました

機能性表示食品受理件数

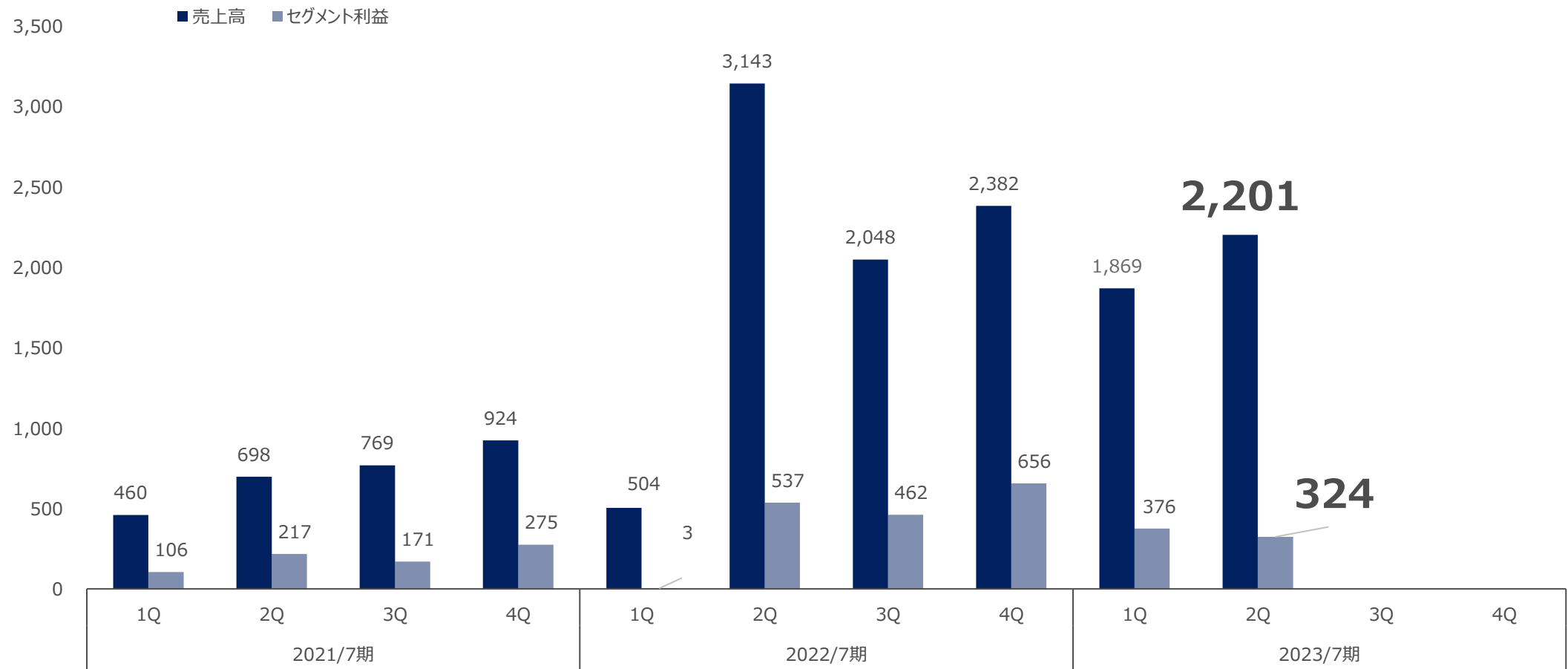
(件)

順位	機能性関与成分	受理数
1	GABA	837
2	難消化性デキストリン	465
3	DHA・EPA	327
4	ルテイン・ゼアキサンチン	277
5	ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	239
6	イチョウ葉 (フラボノイド配糖体、テルペンラクトン)	184
7	ビフィズス菌	159
8	葛の花由来イソフラボン	157
9	アスタキサンチン	147
10	L-テアニン	142


2023.2.28 現在 当社調べ

四半期業績推移

(百万円)



主力の機能性素材「ファーマギャバ」、OEM事業のドラッグストア向けPB育毛剤及び医薬品製造受託が増収増益に寄与。



B to C 事業

ニューモ育毛剤へのお客様のニーズ継続



2年連続 売上**世界一** ※1

3年連続 売上**日本一** ※2

Newmo



TCPマーケティングリサーチ株式会社
※1育毛効果を訴求してる商品を対象。（日本市場において医薬品として販売されている商品を除く）
※2医薬部外品、OTC医薬品、化粧品における商品別年間売上金額（メーカー出荷ベース）

新製品が着実に成長中



まつ毛美容液 「まつ毛デラックスWMOA」が好調、 売上世界一※！170万本突破。

売上世界一の育毛剤
「ニューモ」ブランドから
誕生しました

※2020年度メーカー出荷金額。育毛効果を追求している商品を対象。日本市場において最優秀品として取扱われている商品は除く。
※2021年3月TPCマーケティングリサーチ(株)調べ

ニューモ
累計出荷
1700万本
突破

※2022年11月5日時点での累計出荷実績

塗るたび 美まつ毛^{※1}
ヘアケア美容成分

速攻 美カール^{※2}
まつ毛強化・保護成分

感動の栄えるまつ毛ケア体験

※1：ハリ・コシのあるまつ毛のこと ※2：ポリマーコーティングによる物理的效果

ダブルパワー
一本二役のWPOWER
【まつ毛デラックス WMOA】

日本初
ダブルエンドタイプ
まつ毛美容液
誕生！

内容量(1日目安量)
根元側：2ml まつ毛側：3.3ml

塗るたび 美まつ毛^{※1}
ヘアケア美容成分

速攻 美カール^{※2}
まつ毛強化・保護成分

※1：ハリ・コシのあるまつ毛のこと
※2：ポリマーコーティングによる物理的效果
※3：寝癖の高剛性が形状の異なるブラシやチップを備えたダブルエンドタイプとして(輸入品、マスクラ、まつ毛エクステ専用用品は除く)
2021年7月 TPCマーケティングリサーチ調べ
※4：2022年9月24日出荷実績

100万本突破

※TCPマーケティングリサーチ株式会社
まつ毛美容液に関する世界ランキング調査より
2022年1月～2022年12月の売上金額を対象に評価。

薬用歯みがき 「DRcula(キュラ)」ホワイトニングジェル 50万本を突破！

歯本来の白さへ

そんなお悩みに！
“卵殻アパタイト”
配合の薬用ハミガキに変えるだけ！

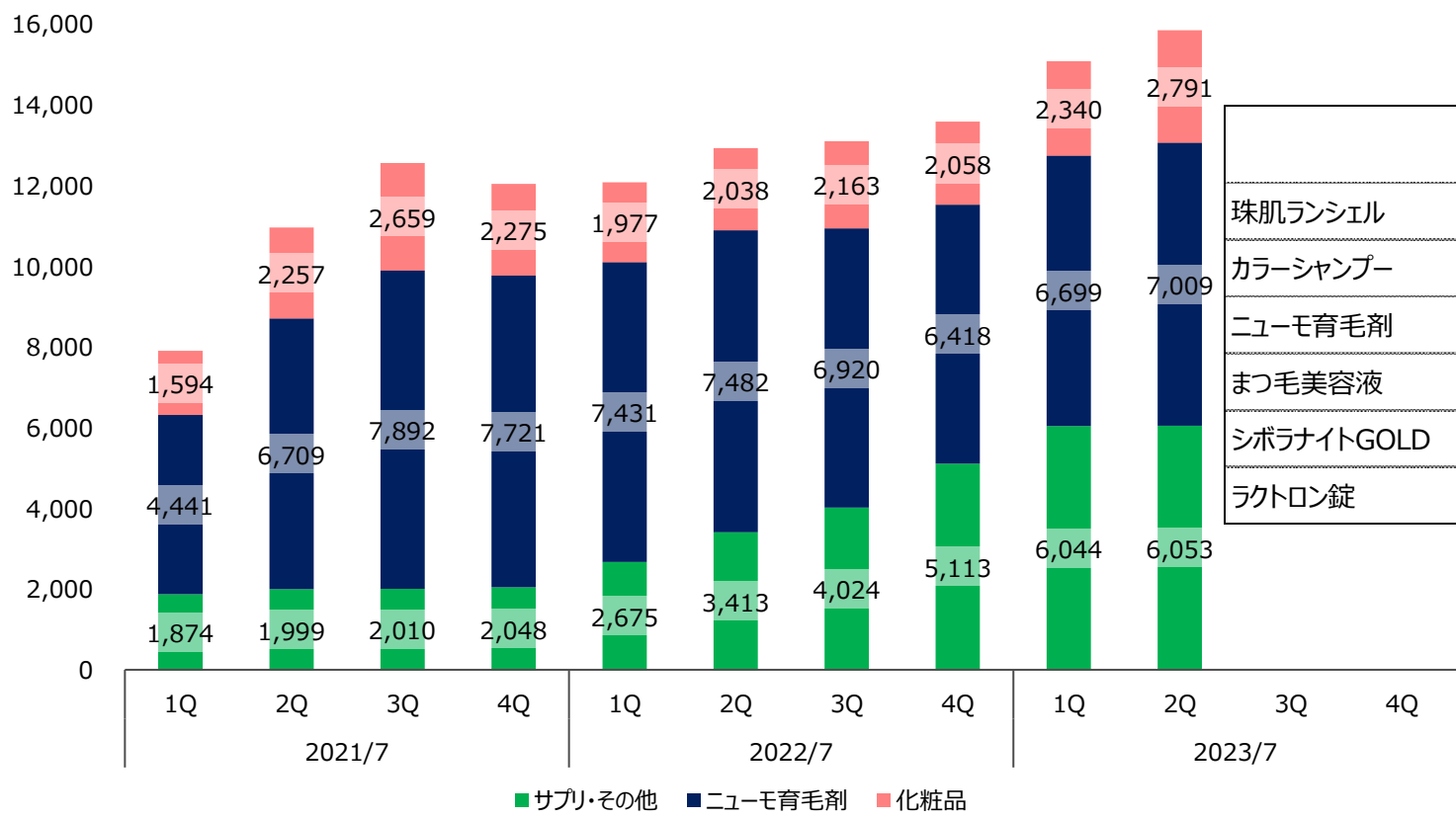
DRACULA
for soft & clean white teeth
Dracula is jealous of...

薬用ハミガキ

アイテム別売上高

(百万円)

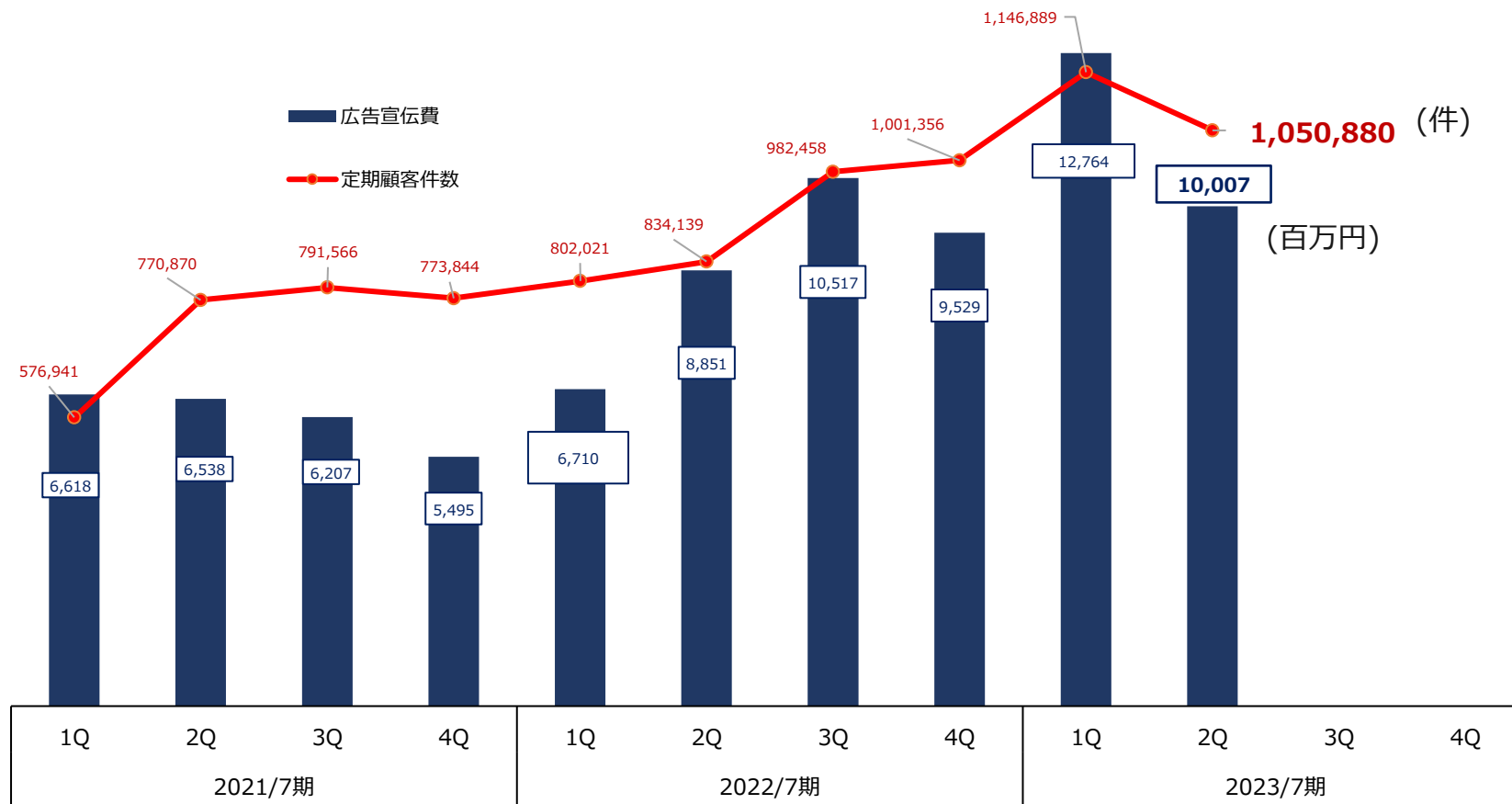
主な製品の売上推移



	'21年7月期				'22年7月期				当期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
珠肌ランシエル	118	131	170	127	118	121	238	508	644	856
カラーシャンプー									324	467
ニューモ育毛剤	4,441	6,709	7,892	7,721	7,431	7,482	6,920	6,418	6,699	7,009
まつ毛美容液					74	917	879	922	1,488	1,441
シボラナイトGOLD					8	652	2,534		2,390	1,840
ラクトロン錠									210	544

主力のニューモ育毛剤のQoQでの増収を支えに、まつ毛美容液、シボラナイトGOLD等が増収けん引。ニューモ以外の製品も着実に育成中。

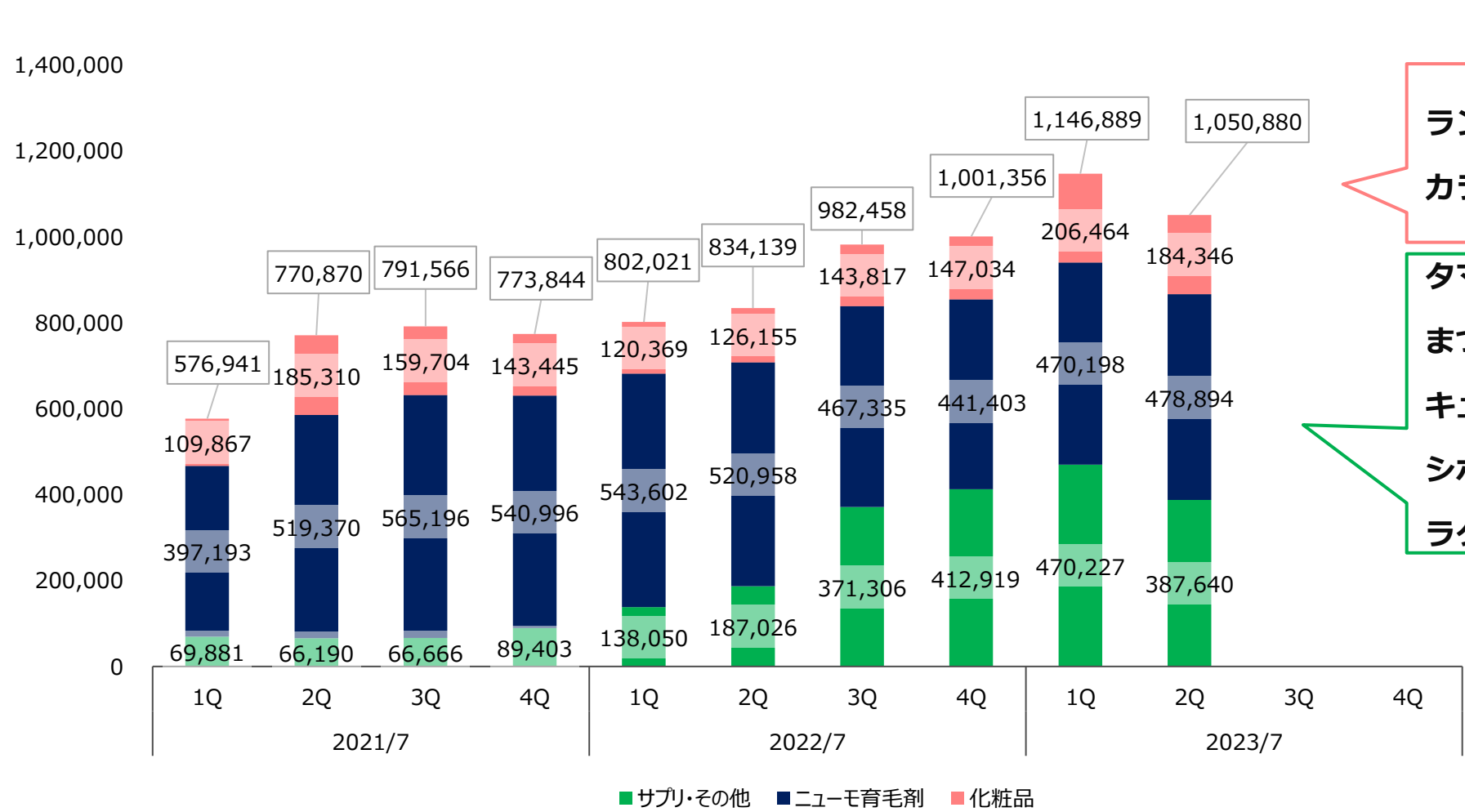
広告宣伝費と定期顧客件数



**CPOの規律を守りながら、定期顧客件数は安定した水準に。
下期は、広告宣伝の質と量の大胆な見直しも実行していく。**

定期顧客件数の内訳

(件)



主な定期顧客の内訳

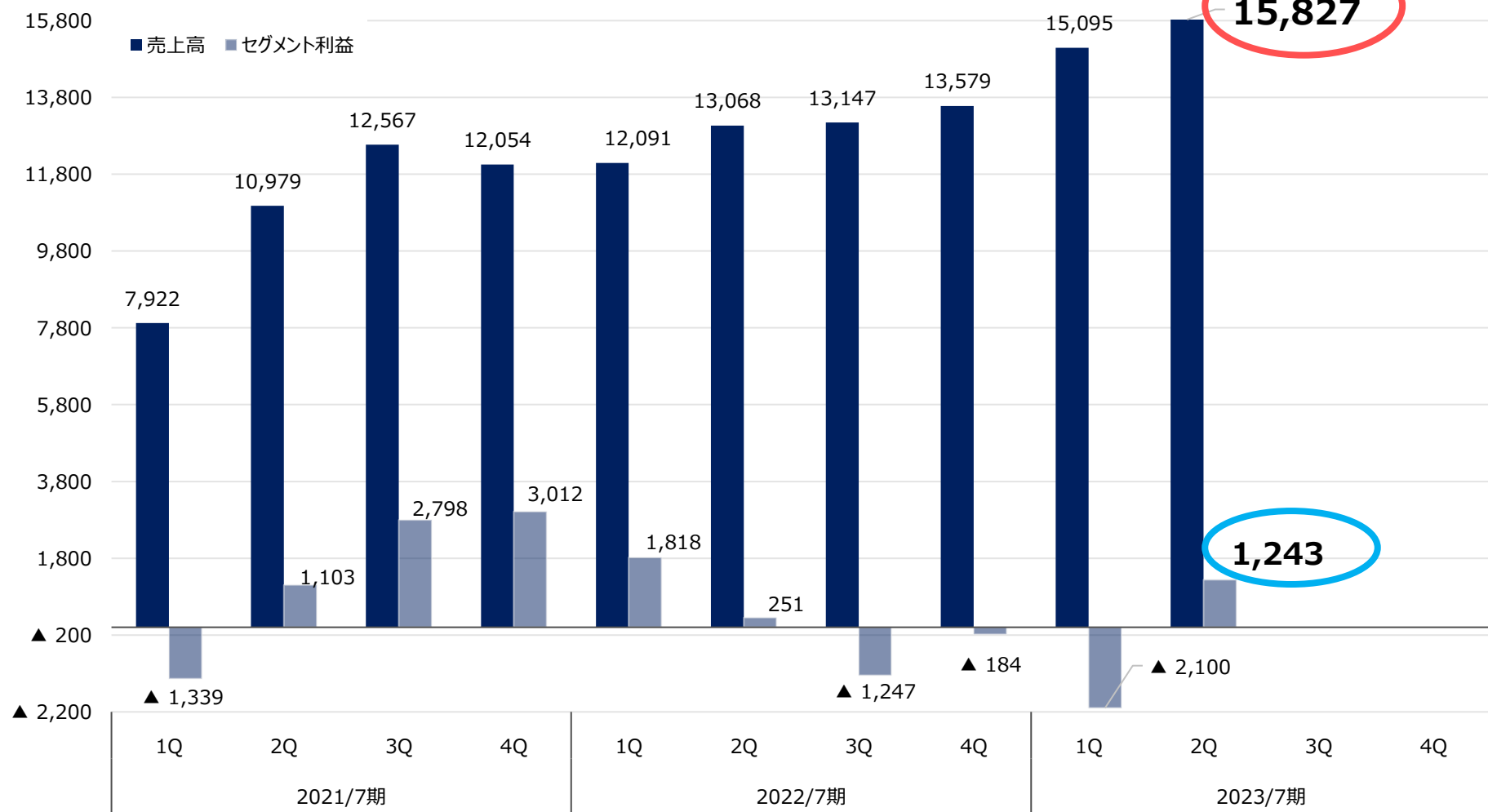
ランシエル : 70,384
 カラーシャンプー : 41,024

タマゴサミン : 40,756
 まつ毛美容液 : 82,715
 キュラシリーズ : 67,617
 シボラナイト : 102,280
 ラクトロン錠 : 43,726


新製品キュラシリーズ、カラーシャンプーに加え、まつ毛美容液等がバランスよく成長。主力ニューモ育毛剤は安定した収益に大きく貢献。

四半期業績推移

(百万円)



**過去最高の四半期売上を達成。
Q1で広告宣伝費の効果が現れ、Q2会計期間で既に黒字化。**



バイオメディカル事業

微量タンパク質解析「Olink Target」サービスが好調

最新技術が注目され、製薬メーカーによる受注が増加。
今後の拡大を見込んで、
国内2拠点(京都・徳島)に専用測定機器を導入。



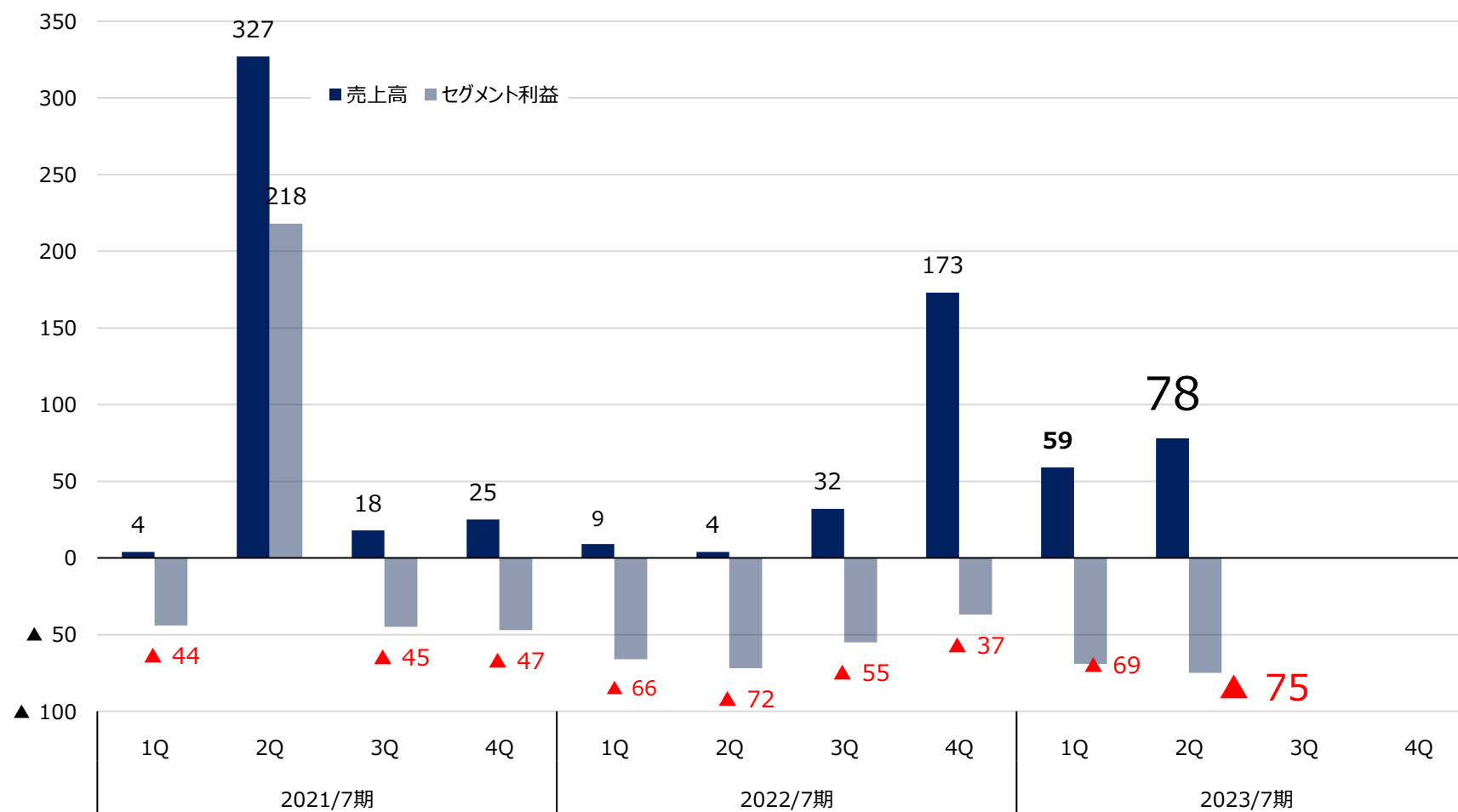
Olink Target のサービスプロバイダーで最上級の“Platinum Badge”認定は全世界で現在18社。

国内で唯一、“Platinum Badge” 認定



四半期業績推移

(百万円)



**プロテオーム解析受託事業の寄与により2Qも大幅増収。
引き続き自己免疫疾患、線維症に研究開発投資を継続。**



2023年7月期業績予想

業績予想値の変更なし

(百万円)

	第2四半期 (累計) 実績	2023年 7月期予想
売上高	35,143	71,000
営業利益	▲883	1,191
経常利益	▲912	1,268
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲914	886

2Q連結会計期間より13億円の黒字化。新たな取組みが下半期から具現化してくることが見込まれます。現在、KPI等を見ながら慎重に2023年7月期予想の精査を行っており、予想値から大きな変更が生じる場合は速やかに開示いたします。

株主還元

2022年10月、中期経営計画の進捗状況と現在の株価水準等を総合的に考慮し、3億円の自己株式取得

	2022年 7月期	2023年 7月期予想
一株あたり 年間配当金	20円	20円
配当金総額	5.8億円	5.8億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3.74億円	8.86億円
配当性向	—	65.5% ※
自己株式取得	3億円	3億円
総還元性向	—	99.3% ※

※ 2022年9月6日発表の業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に基づく

株主還元方針

当社は、企業の成長性と収益性を両立させる事業方針の下、研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていくことを基本方針としております。この方針の下、成長投資の推進、財務健全性の確保及び株主還元の強化のバランスを考慮し、自己株式取得を含む総還元性向20%を株主還元策の目安としております。



TOPICS

【アライアンス】(株)エルビーと資本業務提携、自社ブランド品、販路を強化

1. 機能性素材を活用したロングライフ(最大9ヶ月)飲料等の共同**開発**
2. 共同開発製品に関するエルビーの工場における**生産**
3. 大手流通等への共同**営業** 他

名称	株式会社エルビー
所在地	埼玉県蓮田市黒浜3469-1
代表者	代表取締役社長 畑中 晴彦
事業内容	清涼飲料、果汁飲料、乳飲料の製造及び販売
資本金	310百万円
創業	1956年12月22日
URL	https://www.elbee.jp/



(エルビー 畑中代表取締役社長、ファーマフーズ堀江常務取締役)

【新市場】ベトナム大手と組み、健康食品の製造・販売に参入

ベトナム国内における生産から販売までのサプライチェーン構築を目指す



FPT Digital Retail Joint Stock Company (FRT)

ベトナムのFPTグループの子会社で、2021年度の売上高は約1,310億円。
ベトナムに1,000店舗以上を展開する大手薬局チェーン
「FPT **Long Chau** (ロンチャウ)」を有する。



ベトナム国内のロンチャウの店舗

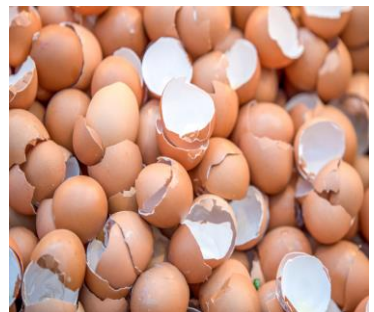
【新組織】 PF Visionary Fund 設立

創薬等の研究開発にイノベーションを起こす

名称	PF Visionary Fund(ピ・エフ ビジヨナリー ファンド)投資事業有限責任組合	
組成目的	当社グループの事業ドメインである 創薬 事業及び ヘルスケア 事業に関連する国内外のスタートアップへの投資	
出資の総額	最大100億円（設立時10.1億円）	
組成日	2023年1月23日	
出資者	株式会社ファーマフーズ（当社）	99.0%（10億円）
	株式会社PF Capital（当社の連結子会社）	1.0%（1千万円）
無限責任組合員	株式会社PF Capital	

【新市場】 卵殻膜繊維ovoveil（オボベール）

2023年中の販売へ大手メーカーと商談中



未利用の卵殻

卵殻膜を分離

加水分解

レーヨンと混合、
繊維化

紡糸



ovoveilの特徴

未利用の卵殻膜をアップサイクルした環境配慮素材

卵殻膜の特徴である美肌・健康機能を持つ、機能性繊維

これまでにない滑らかな風合い



ovoveil

【新市場】 アグリ・ニュートリション事業

肥料、農薬とは異なる**バイオスティミュラント**を開発



水稲の中干し時に散布



例年平均と比べ収量**15%**増加



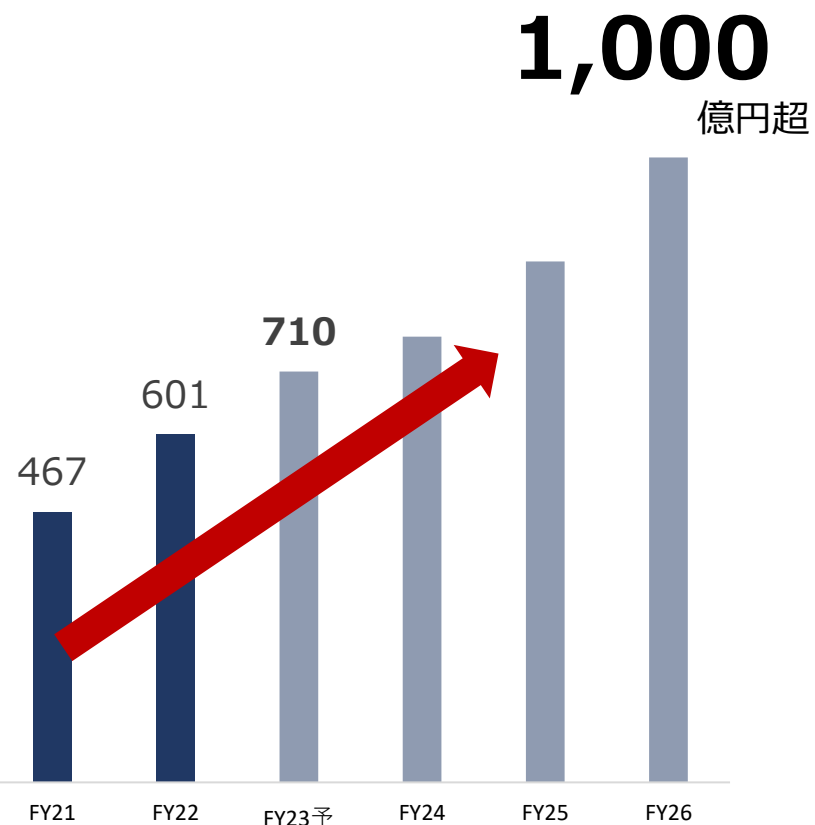
Appendix

売上高の構成イメージ

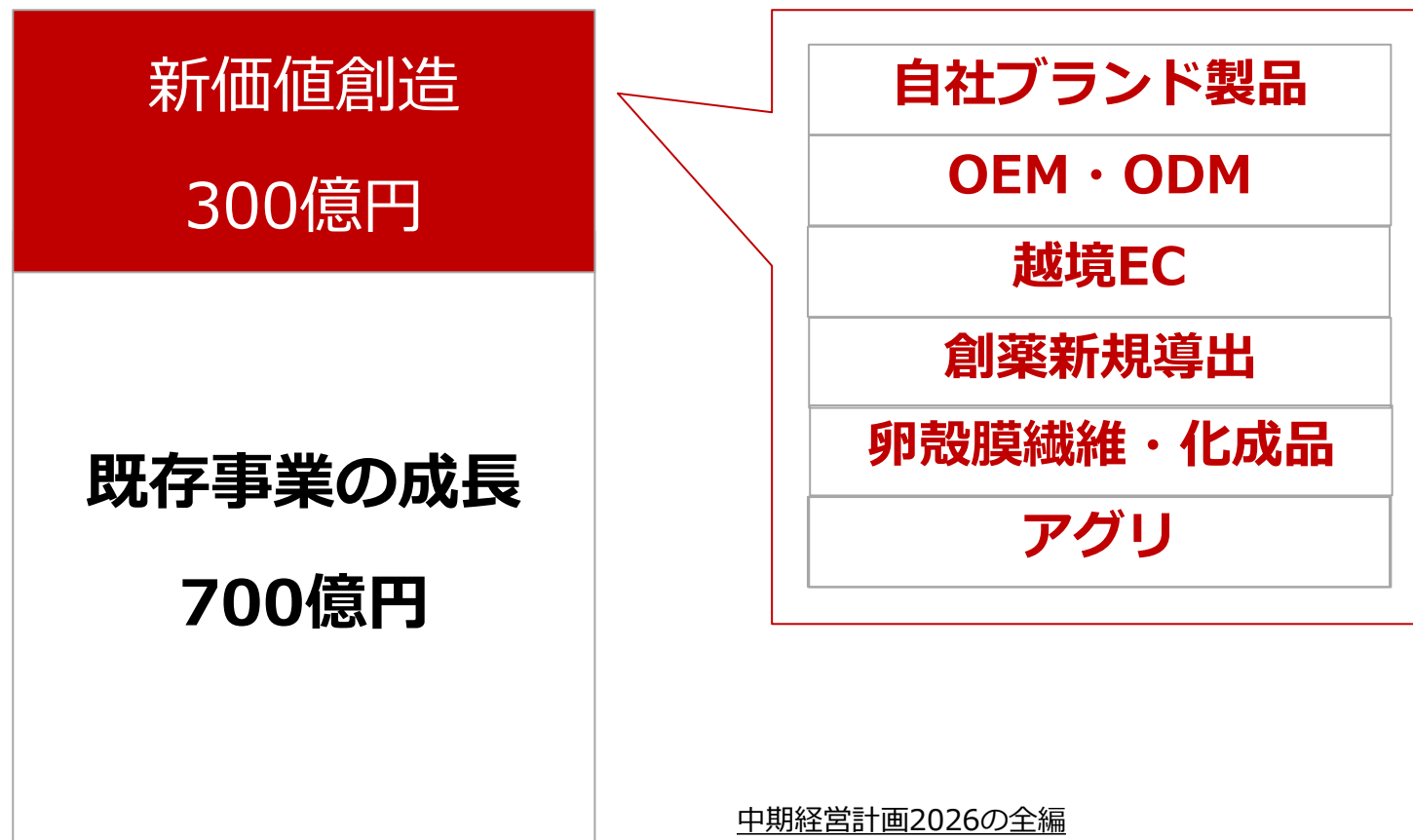
「新価値創造 1K」

新価値創造に取り組み、5年後売上高**1,000**億円を目指す

売上高目標



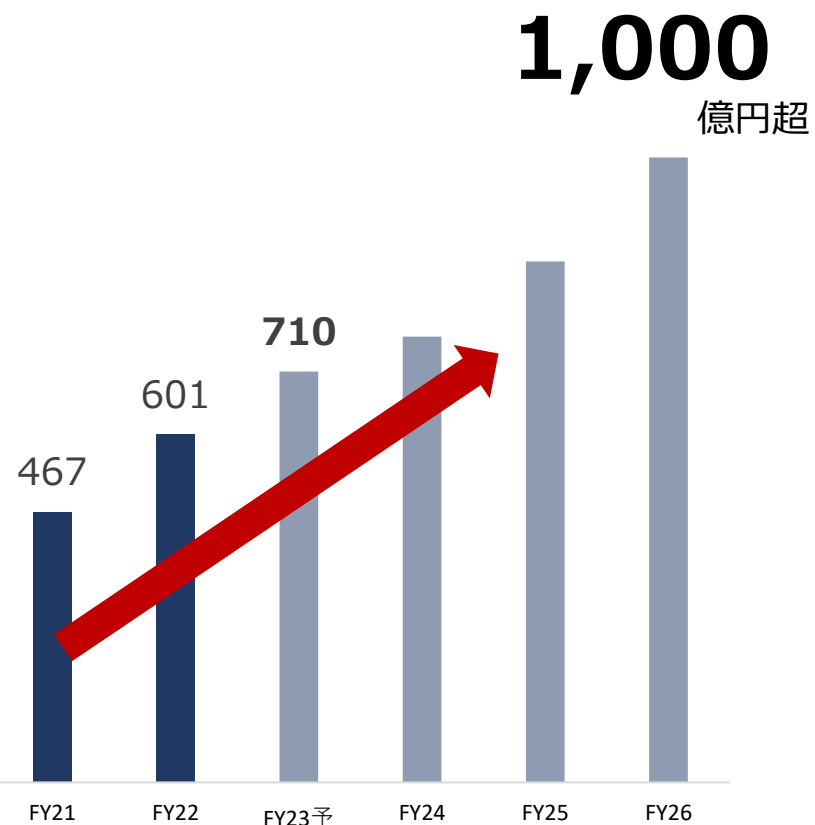
5年後の売上高構成イメージ



数値目標

新価値創造に取り組み、5年後売上高**1,000**億円を目指す

売上高目標



コミットメント

売上高成長率**20%**

当社グループは規模の拡大による成長性を重視しております。新規事業やM&Aを通じて、2026年7月期までの売上高年平均成長率20%以上を実現します。

総還元性向**20%**

研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていきます。この方針の下、自己株式取得を含む総還元性向20%を株主還元策の目安としております。ただし、中期経営計画の進捗に照らした株価水準と市場との間に大きな乖離が生じていると判断した場合は、この限りではありません。

利益水準の考え方

営業利益率 **10%**

2026年7月期までは、大胆にリスクをとりながら規模の拡大を目指してまいります。平均的に10%の営業利益率が確保できる体制を目指してまいります。ただし、単年度における利益率が低下することを恐れず事業展開を行います。

免疫

老化

神経

B to B 事業

機能性素材事業

PharmaGABA[®]

B to C 事業

発明企業の通販事業

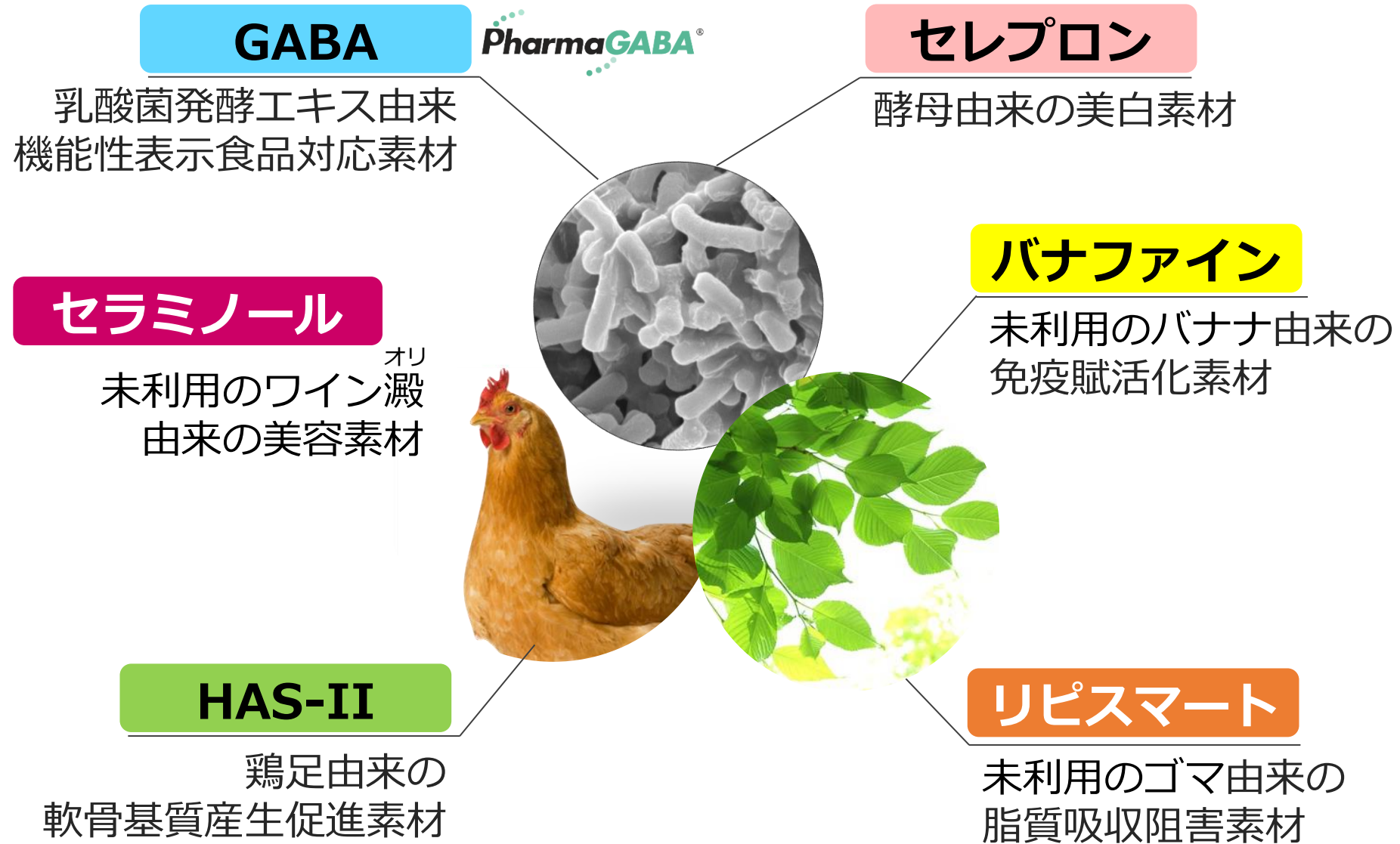
タマゴ基地[®]
TAMAGOKICHI

創薬事業

Drug Discovery事業

ALAgene[®]

“天然由来”の原料から機能性素材を探索



“タマゴ”から食品・化粧品の機能性素材を探索



iHA (アイハ)

軟骨増殖

ボーンペップ

骨形成促進



HGP

育毛促進

ランペップ

血流改善



葉酸たまご

核酸の合成



ランシエル

未利用の卵殻膜由来の肌改善美容素材



“発明企業の通販事業”として、健康食品・化粧品・医薬品等を販売



健康食品



化粧品



医薬品・医薬部外品



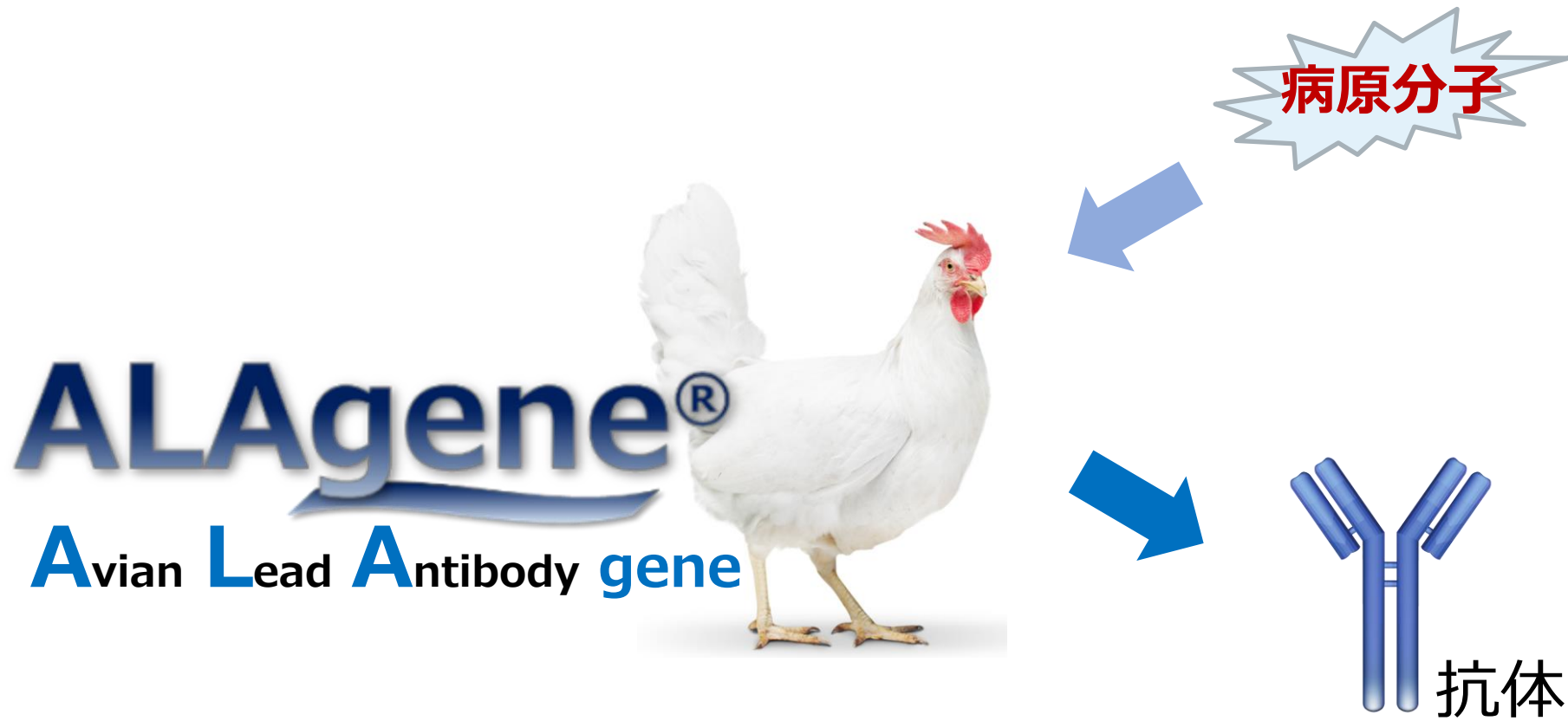
通信販売事業の収益構造

広告宣伝費は、顧客獲得時に計上するものの、売上高は定期コース継続中にわたって計上し、**売上高と広告宣伝費の発生時期が異なる構造**

収益構造のイメージ



“ニワトリ”から抗体医薬品を作る



1

作製困難抗体

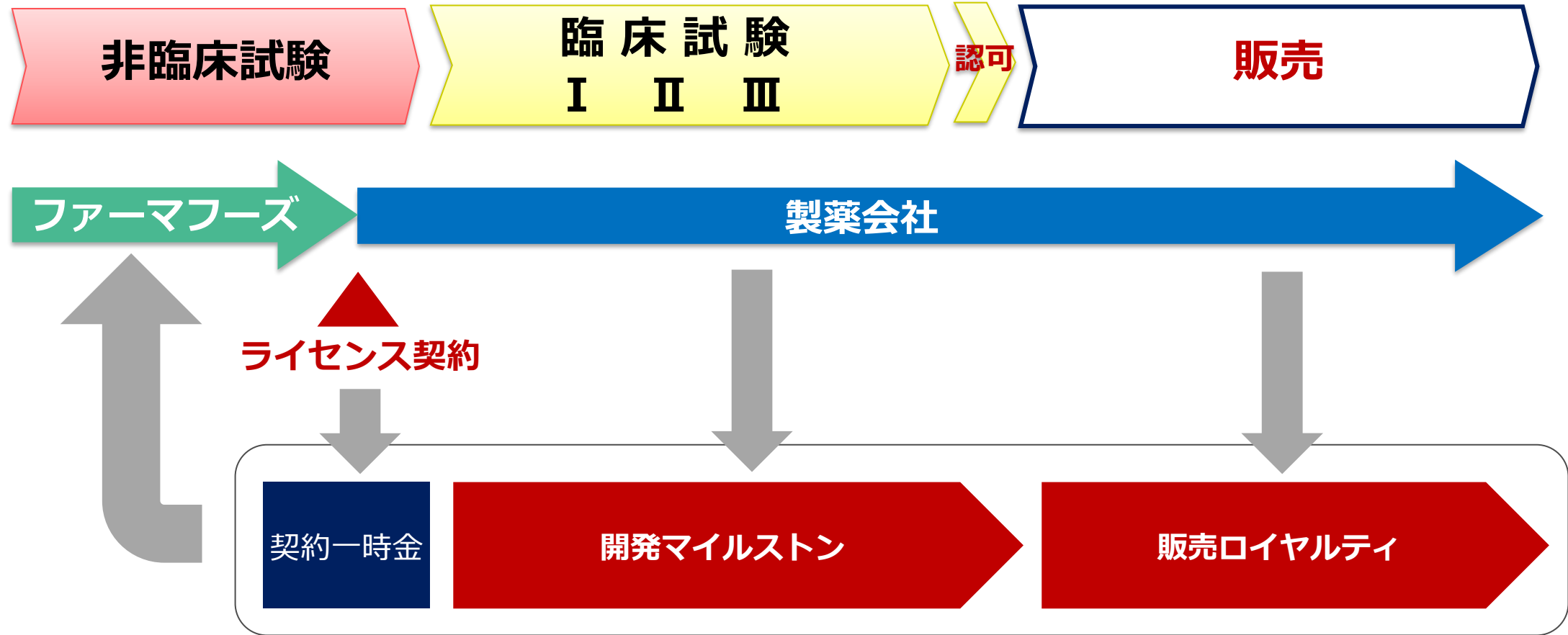
2

高結合力

3

ヒト化抗体

当社の特許を製薬企業へ実施許諾することにより、ライセンス収入を得る



自己免疫疾患治療マーケットは5兆円以上

関節リウマチ治療薬のマーケット

分類	製品名	世界売上高 (2020年度)	販売会社
抗TNF α 抗体	ヒュミラ	1兆3,062 億円	米AbbVie社/エーザイ
可溶性TNF α /TNF β 受容体制剤	エンブレル	4,743 億円	Amgen社/Pfizer社/武田薬品工業
T細胞選択的共刺激調節薬	オレンシア	2,868 億円	米Bristol-Myers Squibb社/小野薬品工業
抗TNF α 抗体	シンポニー	2,774 億円	米Johnson & Johnson社/米Merck社/ 田辺三菱製薬
ペグ化抗TNF α 抗体Fab断片製剤	シムジア	2,289 億円	ベルギーUCB社/アステラス製薬
抗IL-6受容体抗体	アクテムラ	2,115 億円	スイスRoche社/中外製薬
抗TNF α 抗体	レミケード	1,686 億円	米Johnson & Johnson社/米Merck社/ 田辺三菱製薬

M&A、アライアンスに注力

2021年3月	三洋化成工業(株) 	▶資本業務提携 (約4億円) 化粧品、アグリニュートリション、医薬品等の研究開発及び販売の連携
2021年7月	ロート製薬(株) 	▶資本業務提携 (約6億円) ヘルス&ビューティケア及び食分野の製品開発、生産、販売の連携
2021年8月	明治薬品(株) 	▶完全子会社化 (約23億円) 医薬品製造、ドラッグストア販路等の経営資源を活用
2021年8月	(株)アイ・ブレインサイエンス 	▶第3者割当増資の引受 (6千万円) 認知機能低下の早期発見及びその改善のための機能性食品の組み合わせ
2022年4月	(株)アンテグラル	▶吸収分割 当社の抗体作製技術「アラジン テクノロジー」と、アンテグラルが持つプロテオーム解析技術を組み合わせ創薬ターゲットの探索・同定をより強化
2022年5月	オンキヨー(株) 	▶持分法適用関連会社化 健康・医療機器の販売及び創薬事業におけるAIを活用した標的探索などの新規事業を推進
2022年5月	(株)PF Capital	▶子会社化 創薬事業及びヘルスケア事業の技術獲得を目的にCVC運営会社を譲受け
2023年3月	(株)エルビー 	▶資本業務提携 機能性素材を活用した飲料等の共同開発、共同開発製品に関するエルビーの工場における生産、大手流通等への共同営業による販売強化